

International Interactive Workshop on Quantum Technology, Music, and Creative Expression

with Prof. Eduardo Reck Miranda (*University of Plymouth*)
and Prof. Satofumi Souma (*Kobe University*)



Prof. Eduardo Reck Miranda (*University of Plymouth*)

How will quantum computing
reshape the future of music and
human creativity?

Join us for an afternoon of inspiring
talks, live demos, and interactive
discussions with a world pioneer in
quantum computer music.

Date & Time:

**Saturday, 10 October
2026**

14:00 – 18:00
(Doors open at 13:30)

Venue:

V Room (Seminar Room V105)
Information Value Creation
Education Building,
Kobe University
(In-person only)

[PROGRAM]

- Part 1: Opening & Keynote (Prof. E R Miranda)
- Part 2: Demos Session
- Part 3: Poster Session & Networking
- Part 4: Quantum Computer Music Performance
(*Grand Finale Concert*)



Information Value Creation Education Building,
Kobe University



Registration

Call for Posters

We welcome poster presentations from students and researchers. Ongoing projects are highly welcome.

■ Scope & Topics:

- Music Information & Creative Systems: AI music, Interactive audio, sound synthesis, media art, etc.
- Quantum Computing for Creative Applications: Generative art/music/text, or any artistic Implementations of quantum phenomena.

**Poster application (express interest):
by September 4, 2026** (Details can be submitted later)

Admission: Free (Registration required)

General Registration: Rolling admission until filled
(Early registration recommended)

Organized by: EP4A Lab., Kobe University

Cooperation: EntangleTune

Supported by:

Kobe University International Joint Research Promotion
Program and the University of Plymouth

Contact: Satofumi Souma (Dept. of Electrical and Electronic
Engineering, Kobe Univ.) ssouma@harbor.kobe-u.ac.jp

International Interactive Workshop on Quantum Technology, Music, and Creative Expression

《量子技術・音楽・創造的表現に関する国際インタラクティブワークショップ》 【2026年10月10日（土）】開催のご案内

2026年10月10日（土）、神戸大学にて、量子技術・音楽・創造的表現に関する国際インタラクティブワークショップを開催します。本ワークショップでは、量子コンピューティングやAIを用いた音楽表現の世界的パイオニアである、英国プリマス大学のエドゥアルド・ミランダ教授をお招きします。

前半の部では、ミランダ教授による基調講演に加え、量子コンピュータを用いた音楽生成のデモセッション、さらにこれらを踏まえたトークセッションやディスカッションを予定しています。続くポスターセッションおよびネットワーキングの時間では、国内外の最新研究の紹介やデモ体験を通じて、参加者同士が直接アイデアを交わし、自由に交流できるオープンなプラットフォームを用意しています。そして後半の部では、今回のハイライトとして、ミランダ教授によるコンサート形式でのパフォーマンスを披露いたします。

最先端のテクノロジーと芸術が交差する新しい表現の可能性を、ぜひ会場で体感し、ともに議論しましょう。

【イベント概要】

日時：2026年10月10日（土）14:00～18:00（開場 13:30）

会場：神戸大学情報価値創造教育棟1階 V105セミナー室（Vルーム） ※対面開催のみ
（[神戸大学システム情報学研究科本館](#)隣接）〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1

参加費：無料（要事前登録・先着順）

対象：量子コンピューティング、AI、情報科学、音楽テクノロジー、メディアアート等に関心をお持ちの研究者・教員・学生、および一般の方

ポスター発表：ポスター発表も募集します（詳細は表面の「Call for Posters」をご覧ください）

※講演は英語で行われますが、当日はAIによる日本語字幕自動生成を試験的に活用予定。

【ゲストプロフィール】

Eduardo Reck Miranda（エドゥアルド・ミランダ）英国プリマス大学教授（コンピュータ音楽）、および同大学インターディシプリナリー・センター・フォー・コンピュータ・ミュージック・リサーチ（ICCMR）ディレクター。1980年代よりAIを用いた作曲・音楽システム開発を進め、1995年にエディンバラ大学にて、音楽におけるAI活用をテーマにした英国初とされる博士論文を執筆。進化計算やバイオインスパイアド計算による音楽的創造性のモデル化を牽引してきた。近年は、量子コンピューティングとAIを融合させた音楽表現の第一人者として米・経済誌『Forbes』等で大きく取り上げられる。また、脳・コンピュータ・ミュージック・インターフェース（BCMI）の医療・福祉応用（認知症サポート等）でも国際的に高く評価されている。数々の交響曲やオペラを手掛け、BBCコンサートオーケストラ等と共演するほか、NFTアーティストやメタバースでのコンサート、単細胞生物との音楽即興演奏など、常にテクノロジーと芸術の境界を拡張し続けている。

【主催・お問い合わせ】

・主催：神戸大学大学院 工学研究科 電気電子工学専攻 EP4A（相馬聡文）研究室

・共催：EntangleTune

・後援：神戸大学国際共同研究強化事業、プリマス大学

・お問い合わせ：ssouma@harbor.kobe-u.ac.jp

・お申し込み方法：下記のリンクまたはQRコードよりフォームにご登録ください。

・登録フォームURL：<https://forms.gle/pC5tPcmKK2HWNj3DA>

